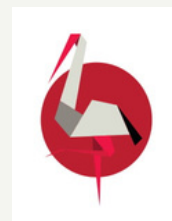


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年7月12日 / Vol. 009



7月4日(月)～7月10日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

ポーランド語教室開講

プシェミシル日本文化センター訪問



プシェミシル日本文化センターにて、
現地の状況と支援内容について話し合
っている様子。

ご支援総額

2022年7月6日までの寄付総額 96,830,022 円

寄付金使用総額 1069512.97 zł (3,102万円)

7/4(月)～7/10(日)の期間中の寄附金使用額

64658.6 zł(約188万円)

社会福祉法人 福田会

週次報告書

2022年7月12日 / Vol. 009



活動内容

支援所への支援物資提供

クラクフ中央駅地下のカリタス支援所に、週3回の買い出し支援を実施。

主にシャンプー、トイレトペーパー、おむつ、赤ちゃん用ミルク、水、ニシン缶を提供。



レストランプロジェクト

1週間で約720食を提供。

3店舗とのプロジェクト継続に加え、7月1週目に訪問した、ウクライナからの避難民46名が滞在する学生寮へ、1日1食の食事の配達支援を開始。

学校が夏休みに入り食事の提供がないため、学生らは寮内のわずかな食べ物を食べていた。学校が始まる9月まで、近隣レストランと提携し、毎日の食事の配達支援を行う。

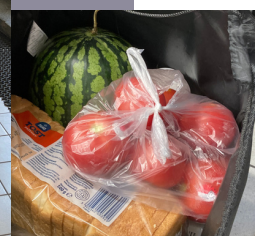


食材支援

20家族に1週間分の昼食用食材を提供。

合計で 1979.12 zł (約57,000円)分の食材を購入。

肉や魚などの主食はもちろん、スイカや桃といった季節の食材を購入する方もおり、「自分で選んだものを食べられるのが嬉しい。」と嬉しそうに話していた。





活動内容

ポーランド語教室開講

キエルツェにある言語学校に、ウクライナ避難民向けのポーランド語教室開講のサポートを実施。

福田会では人数分の授業用教材・筆記用具を提供。

1グループ25名・1か月間(30時間)のコースを計3回実施予定。

言語学校から送られた授業風景の写真には、教室のホワイトボードに日本語で「ありがとう」と書かれている。

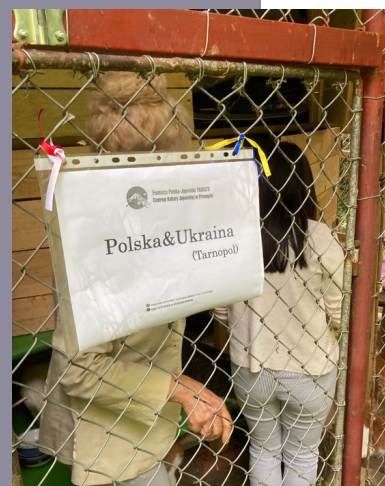


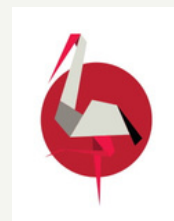
プシェミシル日本文化センター訪問

ウクライナから避難してきた犬猫を保護している、日本文化センターを訪問。

同センターではオデッサ・テルノポリから避難してきた犬猫を保護しており、元々保護されていた動物を含め、計100匹を世話している。

福田会では餌・薬・小屋代の支援を予定している。





現地の動向

国境警備隊によると、ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約464万人とされている。(7月9日時点)

厳しい暑さの続いた先週とは一変して、今週は最低気温10度・最高気温20度台と、冷え込む一週間となり、人々の装いも秋服へと様変わりした。

学校が夏休みに入り、日中の市内には学生の姿が目立つようになったが、ウクライナ避難民にも交通機関の乗車代がかかるようになった為か、市中心部に入りするウクライナ人の数は減少したように見受けられる。

福田会が毎日支援物資の提供をし、クラクフ中央駅で避難民の支援を行っていた“プラットフォーム4番避難所”は、引っ越し先の支援所を正式にオープンさせた。

こちらは駅からバスで20分程と少し離れた場所に位置しているが、駅まで避難民の送迎をし、次の避難先までの移動サポートを行っている。

福田会からは2段ベッド18台、ベッドシーツを提供しており、既に多くの避難民が利用している。

